

# フォナック ターゲット 7.0

## TargetMatch フィッティングガイド

TargetMatch は、フォナックがオトメトリックスと共同開発した製品で、補聴器のフィッティングとオトメトリックス社製オーリカルのハードウェアおよびソフトウェアを使用した微調整内容を統合したシステムです。フォナック ターゲット フィッティングソフトの中で利用でき、補聴器のフィッティングと検査を可能にします。TargetMatch は、プローブチューブの適切な設置を通して、実耳および 2cc/検査箱の測定を実行し、自動または手動でのターゲット マッチングを実行します。

フォナック補聴器のプログラミングとフィッティングに関する詳細は、フォナック ターゲット フィッティングガイドを参照してください。

### 要件

フォナック ターゲットのバージョン

フォナック ターゲット6.1以上

NOAH のバージョン

NOAH4.4-ビルド番号2280以上

オトメトリックス オトスイートのバージョン

オトスイート4.81.00以上

機器

オトメトリックス オーリカル フリーフィットおよび  
オーリカルヒット検査箱

オトメトリックス社製オーリカルの詳細については、[www.otometrics.com/aurical](http://www.otometrics.com/aurical) をご覧ください。

## 1. 補聴器の接続

メイン画面上端の中央に配置されているドロップダウンメニューから、補聴器のプログラミングに使用するフイティング機器([Noahlink Wireless]/[iCube II] / [NOAHlink]/[HI-PRO])を選択します。

TargetMatch には iCube II または Noahlink Wireless を使用することをお奨めします。

ワイヤレスフイティング機器を使用する場合は、補聴器に新しい電池を入れてください。または、補聴器を十分に充電してください。[接続] をクリックして、補聴器との接続を確立します。



補聴器が接続されたら、[音響パラメータ] 画面が自動的にポップアップ表示されます。

**注:** カプリングオプションを必要に応じて変更し、適切なフイティングパラメータが適用されるようにしてください。

## 2. フイティング処方

[基本調整] で、希望するフイティング処方を選択できます。この選択に基づいて、TargetMatch によって適切なパラメータと実耳目標が適用されます。

基本調整には、[フイティング] > [基本調整] からアクセスできます。

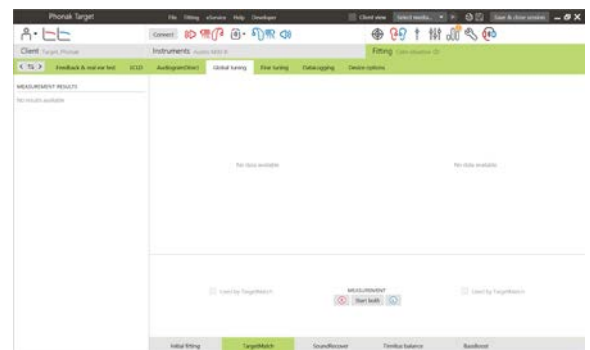


## 3. TargetMatch

TargetMatch には、[基本調整] > [TargetMatch] からアクセスできます。

[R]/[両耳で開始]/[L] をクリックして、TargetMatch を開始します。その後は、アシスタントの指示に従って一連のステップを行います。

TargetMatch でテストを行う前に、[ハウリングと実耳テスト] を実行しておくことをお奨めします。

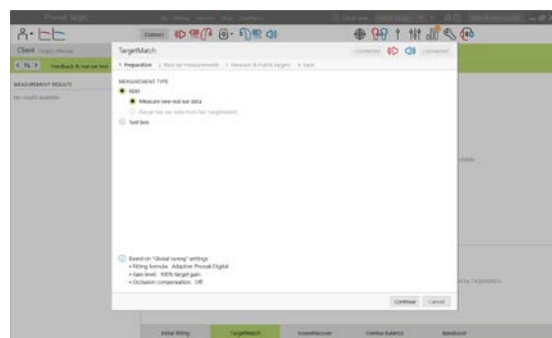


## 4. 準備 - 方法の選択

測定に使用する方法([REM] または [検査箱])を選択します。

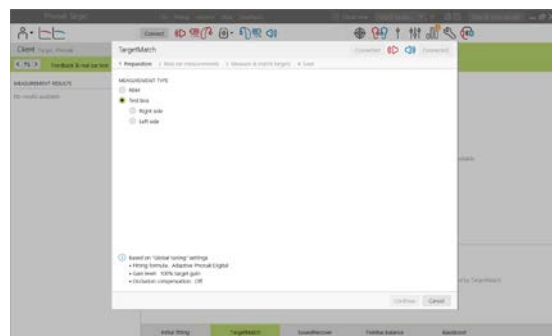
REM 測定の場合

- **[新しい実耳データを測定]**を選択します。このソフトウェアでは、校正を行い、プローブチューブを設置し、REUG、REOG、RECD 測定およびマイクロホンチェック/MLE を実行するためのステップを通じて導かれます。



2cc/検査箱測定の場合

- **[検査箱]**を選択して、2cc/検査箱の中で直接、測定とターゲット マッチングを実行します。フィッティングセッションで利用可能な、以前に測定した RECD またはその平均、年齢に依存した RECD が適用されます。2cc/検査箱による検査を直接続けるには、**セクション 8 の測定と目標に一致**を参照してください。

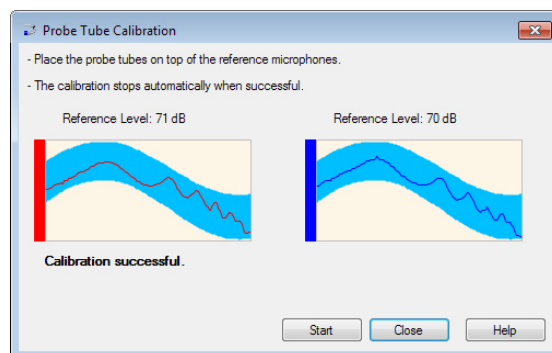


## 5. 準備 - プローブチューブの校正

指示に従ってプローブチューブを校正します。

**注:** 校正カーブが滑らかではなくギザギザしている場合は、プローブチューブの挿入を再点検し、校正を繰り返してください。

**[閉じる]** をクリックして、先に進みます。



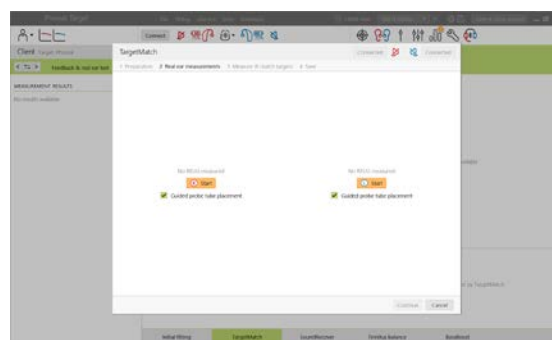
## 6. プローブチューブの配置と REUG 測定

プローブチューブの設置位置のガイドでは、プローブチューブを正しい挿入深さに配置できるようアシスタントが行われる仕組みです。10 歳以上の顧客に対して利用できます。

**[R 開始]/[L 開始]** をクリックして、プローブチューブの設置位置のガイドを使用した REUG 測定に入ります。

プローブチューブを耳の穴に配置したら、**[開始]** をクリックするか、オーリカルフリーフィットの電源ボタンを押して、プローブチューブの設置位置のガイドを開始します。

示されたとおり、プローブチューブを鼓膜に向けて注意深く動かします。値はミリメートル単位で表示され、オトメトリクスが提供するプローブチューブ上の目盛りと一致します。



緑色のチェックマークは、プローブチューブが正しい位置にあることを示します。

**[測定]** をクリックするか、オーリカルフリーフィットの電源ボタンを押して、REUG 測定を開始します。

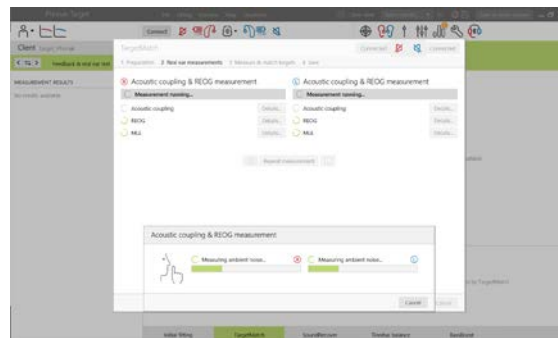


## 7. 実耳測定: RECD、REOG、およびマイクロホンチェック/MLE

補聴器を顧客の耳に挿入し、補聴器の再接続を行います。

**注:** 補聴器を挿入している間、プローブチューブの位置が変わらないようにしてください。

**[測定を開始]** をクリックすると、自動適に RECD、REOG が測定され、マイクロホンチェック/MLE が実行されます。



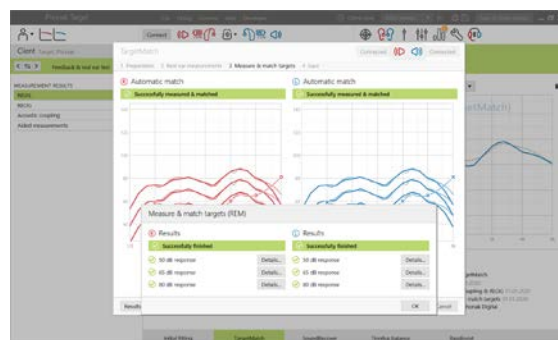
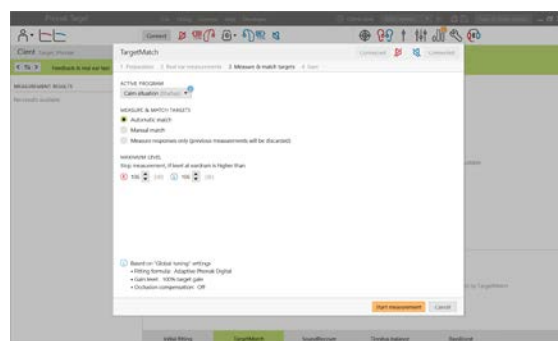
## 8. 測定と目標に一致

検査中に有効にする、検査実行のために使用するプログラムを選択します。

**[オートマチックマッチ]** を選択すると、自動的に音響インフォメーション(REUG、REOG、RECD など)が適用され、特性の測定が実行され、目標に合うように補聴器の出力が調整されます。

(オプション)

- **[マニュアルマッチ]** を選択して、目標に合うように補聴器の特性を手動で調整します。
- **[特性の測定のみ]** を選択して、補聴器の特性の測定のみを行います。

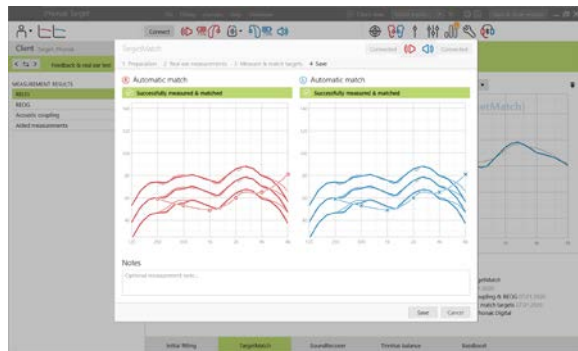


**注:** 2cc/検査箱測定では、補聴器を検査箱へ入れるように通知されます。

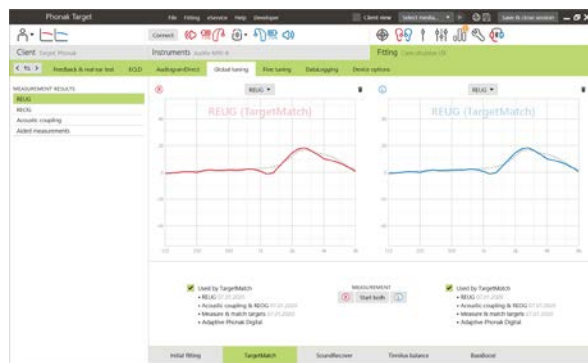
**[測定を開始]** をクリックして、補聴器の特性を取得します。

## 9. TargetMatch の完了

[保存] をクリックして、変更内容をフィッティングに適用し、すべての測定を NOAH に保存します。



結果は、オトメトリックス オトスイートとフォナック ターゲットのいずれからでも後で確認できます。



## 10.記号のインフォメーションと説明およびシステム要件

記号のインフォメーションと説明およびシステム要件の概要はフォナック ターゲット フィッティングガイドで確認できます。

2020 年 CE マーク 取得



製造元:  
Sonova AG  
Laubisrütistrasse 28  
CH-8712 Stäfa  
Switzerland

